

エーデルワイス

高知 三年 なおき



月曜日の放か後のことでした。

三年生のみんなは、リコーダーでエーデルワイスのテストを受けました。ごうかくしなければ帰れないと先生が言いました。

ぼくは、一回やったけど、はんぶんまでいって、

「はい、だめー。」

と先生に言われました。ぼくは、

「あーあ。」

と言いました。

ぼくは、自分のいすにすわって練習しました。なんども練習して、

「よし。」

と言って、ならんで、先生に聞いてもらいました。

いきつぎのところの気をつけました。今度は、最後までいきました。

先生が、すずをふって、

「ごうかくー。」

と言いました。ぼくは、

「よっしゃー。」

と、りよう手をにぎってこしにあてて言いました。ぼくは、一番でし

た。ぼくは、

「これでのこらずに帰れる。」

とよろこんで言いました。

けど、ほんとうにうれしかったのは、エーデルワイスをごうかくし

たことでした。

ぼくは、ランドセルをせおって、かいだんを走っておりました。心の中で、エーデルワイスが鳴っていました。

(指導 坂田次男)